

製品名: HDAC2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02075**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 55 kDa; Observed MW: 60 kDa

抗原情報

遺伝子名	HDAC2
別名	HDAC2; Histone deacetylase 2; HD2
遺伝子 ID	3066
SwissProt ID	Q92769
免疫原	ヒト HDAC2 の組み換えタンパク質

背景

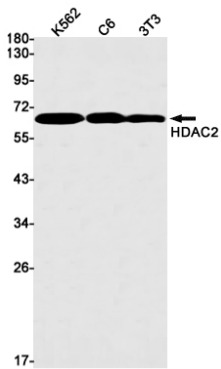
正常な細胞では、DNA はヒストンやその他の核タンパク質と密接に会合してクロマチンを形成します。クロマチンのリモデリングは

転写制御の重要な要素であると考えられており、このリモデリングの主な原因はヌクレオソームヒストンのアセチル化です。ヒストンのアミノ末端テールドメインにおけるリジン残基のアセチル化は、ヌクレオソーム構造のアロステリック変化を引き起こし、DNAの転写因子へのアクセス性を高めます。

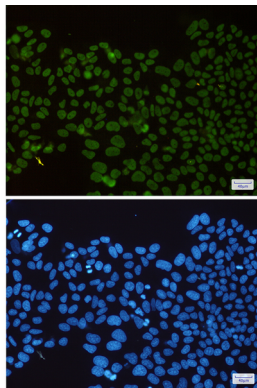
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

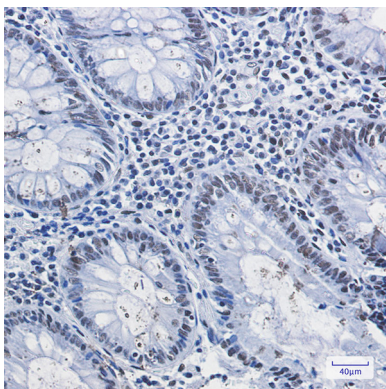
画像データ



HDAC2 抗体を使用した K562、C6、3T3 溶解物中の HDAC2 のウエスタンブロット分析



HDAC2 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の HDAC2 (緑) の免疫細胞化学分析



HDAC2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。